

7月30日、前線に伴う 信濃川・魚野川の出水状況

～堀之内水位観測所において、はん濫注意水位に迫る～

停滞した前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだことにより、中越・下越を中心に大雨となりました。

1) 気象

日本海から北陸地方に前線が停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、長岡市では記録的短時間大雨情報が発表されました。

長岡市乙吉町では、乙吉川があふれ土砂混じりの水が集落を襲い、同市森上では、斜面が崩落し住宅が巻き込まれる被害が出ました。

2) 出水時における信濃川河川事務所の対応

信濃川河川事務所では、7月30日未明からの雨により、河川の水位が上昇したことから、水位の予測、監視などをおこない、万が一、住民避難などの際に必要な情報を提供できるように備えておりました。

【注意体制の発令】7月30日（火）3：30

堀之内水位観測所の水位は、3:30の時点で「81.82m」となり、**水防団待機水位（81.50m）**を超え、**はん濫注意水位（82.50m）**以上の水位に達する恐れがあることから、注意体制を発令し警戒にあたりました。

【体制の解除】7月30日（火）7：00

堀之内水位観測所の水位は、4:00の時点で「81.92m」（今回の出水におけるピーク水位）」となったものの、それ以降は下降し、7:00の時点で「81.37m」となりました。水防団待機水位を下回り、今後、各水位観測所において、はん濫注意水位以上の洪水が予想されなくなったことから、注意体制を解除しました。

